

令和5年度「目標達成のための具体的施策」進捗状況

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
1 区民を対象とした普及啓発・協働の推進	(1) 情報の提供	● 冊子・リーフレット・チラシの作成、配布 ごみと資源の分け方・出し方（保存版、簡易版、4か国語版、全戸配布版） Bunkyoごみダイエット通信（タブロイド判4ページ）※区立小中学校、各施設等に配布 - リサイクル推進協力店リーフレット 登録店舗数 40店舗 - ぶんきょう食べきり協力店パンフレット 登録店舗数 74店舗 - 文京×タベスケチラシ 登録店舗数 20店舗 - エコ先生の特別授業リーフレット 登録講座数 9講座 ● 区報を活用した主な周知・啓発事業 食品ロス削減月間、チャットボットによる「ごみ分別案内サービス」、ごみの分別方法 ● CATVを活用した主な周知・啓発事業 3R・食品ロス削減推進の取組（フードドライブ、ぶんきょう食べきり協力店、文京×タベスケの紹介） ● チャットボットによる「ごみ分別案内サービス」 ・アクセス数 73,003件 ・LINEのお友達数 10,588人 ・LINEによる情報提供（プッシュ式） 20回 （令和6年3月末時点） ● その他 ・区内郵便局への食品ロス削減推進事業のポスター・パンフレットの掲示 小石川郵便局及び本郷郵便局 10月2日（月）～10月29日（日） ①フードドライブ自宅訪問受取サービスポスター（B2判） ②ぶんきょう食べきり協力店パンフレット（A5判） ・3R推進月間（10月） 廃棄物の3R推進を呼びかけるポスターを庁内及び区内施設に掲示 ・食品ロス削減月間（10月） 食品ロス削減の啓発ポスターを庁内及び区内施設に掲示、館内放送の実施、文京区民チャンネルにて区の食品ロス削減事業を放映	● 小中学生にもリサイクルや環境問題に関心を持ってもらうために、分かりやすく読みやすい記事の掲載に努めるとともに、引き続き2Rに関するクイズを取り入れるなど、若年層への普及啓発を行う。 併せて、現在の環境問題等に関する教育内容や啓発活動について、研究を継続する。 ● 「リサイクル推進協力店」、「ぶんきょう食べきり協力店」、「文京×タベスケ」の登録店舗数の拡充を図るため、文京区商店街連合会等に働きかけるとともに、区内店舗への勧誘も引き続き実施する。 ● 普及啓発活動の場を広げるため、他部署主催のイベント等とも連携し、2Rや食品ロスに関する啓発資料を配布する。

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
1 区民を対象とした普及啓発・協働の推進	(2) イベント等の開催や環境学習の場の提供	● 各イベント・講座等の実施状況 【文京エコ・リサイクルフェア】 ・各種資源回収及びフードドライブ（未利用食品の回収）、パネル展示 11月3日（金・祝）、ギャラリーシビック・アートサロン・障害者会館にて開催 16団体出展、来場者約700人 【ステージ・エコ】 ・各種資源回収及びフードドライブ（未利用食品の回収） ギャラリーシビック及びアートサロンにて5回開催（5月12日（金）、 7月8日（土）、9月9日（土）、11月3日（金・祝）、2月2日（金）） ・新型コロナウイルス感染症拡大防止及び区民ひろばの利用制限のため、 フリーマーケット及び尚美ミュージックカレッジ専門学校生による演奏、 おもちゃの病院は中止 【文京ecoカレッジ リサイクル推進サポータースキルアップ講座】 5月17日（水）～6月14日（水）全4回 受講者24人 ① 講師：戸部 昇 氏（㈱トベ商事 代表取締役会長） ② 講師：石丸 亜矢子 氏（接点㈱ 代表取締役） ③ 工場見学（板橋清掃工場） ④ 講師：鬼沢 良子 氏（NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット 理事長） 【文京ecoカレッジ 夏休みリサイクル見学会】 8月24日（木）「夏休みリサイクル見学会」 見学先 光が丘清掃工場（練馬区光が丘5-3-1） 参加者 25人 【文京ecoカレッジ 公開講座】 12月15日（金）「びん・缶・ペットボトル・プラスチックのリサイクル」 講師 戸部 昇 氏（㈱トベ商事 代表取締役会長） 受講者 27人 【文京ecoカレッジ モノ・フォーラム】 2月6日（火）食品ロス削減講座「みんなの食べるをつないで助ける」 講師 海老澤 良介 氏（株式会社G-Place タベスケ運営事務局） 中島 啓介 氏（株式会社G-Place タベスケ運営事務局） 受講者 13人	● 区民に対し、ごみや環境への関心を高めるため、イベントなど様々な機会をとらえて、3Rや資源の分別について啓発を行う。 ● 今後も効果的な開催時期・実施方法を検討する。

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
1 区民を対象とした普及啓発・協働の推進	(2) イベント等の開催や環境学習の場の提供	【文京ecoカレッジ エコ先生の特別授業】 6回実施 受講者 延べ54人 【集団回収実践団体バス見学会】 開催日 11月16日(木) 見学先 有明清掃工場、ペットリファインテクノロジー(株) 見学者 20人 【ふれあい講座】 例年、区立小学校等で実施（令和元年度実績：区立小学校16校、筑波大学附属小学校、都立文京盲学校で実施。受講者 延べ1,267人）しているが、令和2年度から5年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施を見送った。 【子ども服無料頒布会（旧 子ども用品とりかえっこ）】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和元年度まで実施していた「子ども用品とりかえっこ（衣類等の無料交換会）」の開催方法を見直し、事前に回収した子ども服を頒布する「子ども服無料頒布会」として実施 開催日 ①9月30日(土)、参加数 106世帯、頒布数 1,013点 ②3月9日(土)、参加数 101世帯、頒布数 995点 ● 他部署主催のイベントにおいて、未利用食品の回収（フードドライブ）や子ども服の回収を実施したほか、区で作成した広報物の掲示・配架による普及啓発を行った。（クールアースフェア（環境政策課主催）、子育てフェスティバル（子育て支援課主催）、消費生活展（消費生活センター主催））	● 普及啓発活動の場を広げるため、他部署主催のイベント等と連携し、3Rや食品ロスに関する啓発資料を配布する。

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
1 区民を対象とした普及啓発・協働の推進	(3) 地域活動団体等との連携	● 「緑のごみ銀行」と協働し、文京ecoカレッジ 生ごみ減量塾を開催 春季 6月2日(金)「生ごみ腐葉土の作り方・使い方の講義・実習」 受講者 26人 秋季 11月24日(金)「生ごみ腐葉土の作り方・使い方の講義・実習」 受講者 24人 ● ステージ・エコにおいて、ステージ・エコ実行委員会と協働し、各種資源回収及びフードドライブを実施 再掲 ● 文京お届け講座において、区職員が学生団体の学習会に講師として赴き、「文京区の清掃・リサイクルの現状について」をテーマに講演 受講者 18人 ● 本郷百貨店祭り（10月15日(日)開催）において、ブースを出展し、フードロス削減の啓発を実施 ● NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット主催の「文京区3R市民リーダー育成講座」を開催し、7人のリサイクル推進サポーターが受講した。	● 過去に開催した際のアンケートの回答や共催団体の意見を取り入れ、参加者にとってより学びのあるイベントにする。 ● 地域で活動する団体との連携による取組を進めていく。

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性																
2 普 事 及 業 啓 者 発 を ・ 対 協 象 働 と の し 推 た 進	(1) 情報の提供	● 事業用大規模・中規模建築物を対象に、1年間の廃棄物処理実績報告となる再利用計画書の提出や対象事業用建築物への廃棄物立入検査、廃棄物管理責任者への講習会等を通じて、廃棄物の適正処理と減量に関する事業者責任の周知及び指導を行った。また、廃棄物管理責任者講習会は、前期、後期各2回の計4回、ZOOMによるオンラインと対面でのハイブリッドで開催した。 【事業用大規模建築物（延べ床面積3,000㎡以上）】 <table><tr><td>対象件数</td><td>310件</td></tr><tr><td>再利用計画書提出件数</td><td>310件</td></tr><tr><td>事業用建築物立入検査件数</td><td>140件</td></tr><tr><td>廃棄物管理責任者講習会参加人数</td><td>44人</td></tr></table> 【事業用中規模建築物（延べ床面積1,000㎡以上3,000㎡未満）】 <table><tr><td>対象件数</td><td>312件</td></tr><tr><td>再利用計画書提出件数</td><td>291件</td></tr><tr><td>事業用建築物立入検査件数</td><td>103件</td></tr><tr><td>廃棄物管理責任者講習会参加人数</td><td>34人</td></tr></table> ● 区内事業者の参考となる事業系ごみの減量や再利用の積極的な取組について、「真似しよう！事業系ごみ削減プロジェクト」としてまとめた好例集を作成し、建築物の廃棄物管理責任者に配布し、自社や管理物件での廃棄物管理に取り入れてもらうことで、事業系ごみの排出削減とリサイクル率の向上を図った。	対象件数	310件	再利用計画書提出件数	310件	事業用建築物立入検査件数	140件	廃棄物管理責任者講習会参加人数	44人	対象件数	312件	再利用計画書提出件数	291件	事業用建築物立入検査件数	103件	廃棄物管理責任者講習会参加人数	34人	● 廃棄物立入検査で確認を行った、紙リサイクルでの適正分別の取組事例を紹介したり、講習会の中で啓発用DVDを活用したりすることで、事業者の適正処理とごみ減量を促進する。 ● 「真似しよう！事業系ごみ削減プロジェクト」としてまとめた好事例集を建築物の廃棄物管理責任者に引き続き配布し、事業系ごみの排出削減とリサイクル率の向上を図る。
	対象件数	310件																	
再利用計画書提出件数	310件																		
事業用建築物立入検査件数	140件																		
廃棄物管理責任者講習会参加人数	44人																		
対象件数	312件																		
再利用計画書提出件数	291件																		
事業用建築物立入検査件数	103件																		
廃棄物管理責任者講習会参加人数	34人																		
(2) 事業者との連携	● 区内の40店舗が「リサイクル推進協力店」に登録（令和6年3月末時点） ● 区内の74店舗が「ぶんきょう食べきり協力店」に登録（令和6年3月末時点） ● 区内の20店舗が「文京×タベスケ」に登録（令和6年3月末時点） ● 【脱プラスチック製容器等購入費補助金】 補助金の額 補助対象経費の実支出額（上限12万円） 補助件数 15件	● 引き続き各種団体・会議等を通じて周知に努める。																	

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
3 家庭系の 3Rの推進	(1) リデュース (発生抑制)の 推進	● フードドライブ（未利用食品の回収）の実施 リサイクル清掃課常設窓口及びイベント時の回収のほか、地域活動センターでの出張回収臨時窓口や、区内在住でリサイクル清掃課窓口等へ食品の持参が困難な方向けに「自宅訪問受取サービス」を実施した。 回収した食品は、文京区社会福祉協議会及びNPO法人セカンドハーベスト・ジャパンを通じて、生活困窮者や地域の福祉団体、施設等に提供した。 食品回収量 3,760kg ● レジ袋削減・マイボトル持参の啓発 ● チャットボットによる「ごみ分別案内サービス」利用者アンケート&プレゼントキャンペーン 利用者アンケートに回答した区内在住・在勤・在学者のうち、抽選で40人にシート製ストローを配布 応募総数 159件（アンケート回答総数 184件） ● フードシェアリングサービス「文京×タベスケ」 登録店舗数 20店舗、登録ユーザー数 889人 出品数 20件、取引成立数 11件	● 食品ロスの削減をテーマとする講演会等の開催やイベント時に実施するフードドライブをとおして食品ロス削減の周知・啓発を行い、リデュース（発生抑制）を推進する。 ● 令和5年10月より開始した、事業系食品ロス削減のためのフードシェアリングサービス「文京×タベスケ」について、より活発な取引を行うため、登録店舗の協力を得ながら出品数の充実を図る。 ● マイボトル持参を推進する施策について検討する。
	(2) 生ごみ減量 活動の推進	● 【家庭用生ごみ処理機等購入費補助金】 補助金の額 補助対象経費の実支出額に2分の1を乗じて得た額 （上限2万円） 補助件数 38件 ● 【文京ecoカレッジ 生ごみ減量塾】 再掲 ● 【文京ecoカレッジ エコ・クッキング教室】 7月28日（金）「親子エコ・クッキング教室」 会場 キッチンランド江東（江東区猿江） 講師 エコ・クッキングナビゲーター（東京ガスネットワーク株） 受講者 23組46人 ● 食品ロス削減レシピの紹介 「エコ・クッキング教室」委託事業者（東京ガスコミュニケーションズ株） 協力のもと、食品ロス削減レシピを紹介 ● 【リサイクル清掃課公式LINE】 生ごみ減量塾や家庭用生ごみ処理機等購入費補助金についてプッシュ通知で紹介	● 申請状況に合わせて、予算額などを検討し、多くの区民に補助できるようにする。 ● 生ごみ減量塾の受講者の更なる開拓と、状況に応じてオンライン講座も開催する。 ● 生ごみ減量塾やエコ・クッキング教室で、食品ロスについて啓発を図り、生ごみの減量につなげていく。

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
3 家庭系の3Rの推進	(3) モノを長く使うライフスタイルの促進	● 新型コロナウイルス感染症拡大防止及び区民ひろばの利用制限のため、ステージ・エコで実施していたフリーマーケット及びおもちゃの病院（故障したおもちゃ類の無料修理）は中止 ● チャットボットによる「ごみ分別案内サービス」利用者アンケート&プレゼントキャンペーンにおいて、シート製ストローを配布 再掲	● フリーマーケットやおもちゃの病院等の開催方法を検討する。
	(4) リユース（再使用）の推進	● 【ステージ・エコ】 再掲 ● 【フードドライブ】 再掲 ● リサイクル推進協力店の各店舗の取組情報やPRポイント等をHPに掲載40店舗	● ステージ・エコ実行委員への情報提供やステージ・エコ会場にて広報誌等の掲示を行う。 ● 各種広報媒体を活用し、登録店舗の取組内容を区民に紹介する。 ● リユースの活性化に向けた取組を進めていく。
	(5) 集団回収の推進	● 集団回収実践団体への報奨金や作業補助用具の支給、回収実績が優良な団体に対する感謝状贈呈などを行い、集団回収の更なる拡充と活動の支援に努めた。 実践団体数 590団体 ● 集団回収に関する記事を掲載したBunkyoごみダイエット通信（1月）を配布し、多くの区民に周知を図った。	● 集団回収実践団体に対し、引き続き支援を行う。
	(6) 資源回収の推進	● 資源の持ち去り対策のため、清掃職員によるパトロール（時間外早朝を含む）を実施した。 ● ステージ・エコで小型家電9品目・小型の金属類・水銀使用計器類の回収を行った。また、水銀使用計器類については、リサイクル清掃課窓口で通年回収を行った。 ● リサイクル清掃課に回収ボックスを設置し、携帯電話・スマートフォンの回収を行った。 ● 令和4年度に実施したプラスチック分別回収モデル事業の実施結果をまとめ、プラスチックの資源化について検討を行った。リサイクル清掃審議会において、プラスチック分別回収事業の実施について諮問し、分別回収を進めることが適当であるとの答申を得た。	● 資源の持ち去りについては、効果的な連携のあり方や対策等を各関係機関と検討していく。 ● 小型家電9品目・小型の金属類・水銀使用計器類の回収は、現在の回収方法を継続するとともに周知活動を行っていく。 ● 携帯電話・スマートフォンに含まれる金属等の貴重な資源を取り出し、有効活用する。 ● 令和7年度の事業実施に向けて、車両調達や中間処理施設の確保等の準備を進め、具体的な事業実施時期を決定する。実施に向けた区民周知を行う。

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
4 事業系の3Rの推進	(1) 大規模・中規模事業所の3R推進	● 事業用大規模・中規模建築物を対象に、1年間の廃棄物処理実績報告となる再利用計画書の提出や対象事業用建築物への廃棄物立入検査、廃棄物管理責任者への講習会等を通じて、廃棄物の適正処理と減量に関する事業者責任の周知及び指導を行った。また、廃棄物管理責任者講習会は、前期、後期各2回の計4回、ZOOMによるオンラインと対面でのハイブリッドで開催した。 再掲 【事業用大規模建築物（延べ床面積3,000㎡以上）】 対象件数310件 再利用計画書提出件数 310件 事業用建築物立入検査件数 140件 廃棄物管理責任者講習会参加人数 44人 【事業用中規模建築物（延べ床面積1,000㎡以上3,000㎡未満）】 対象件数312件 再利用計画書提出件数 291件 事業用建築物立入検査件数 103件 廃棄物管理責任者講習会参加人数 34人 ● 区内事業者の参考となる事業系ごみの減量や再利用の積極的な取組について、「真似しよう！事業系ごみ削減プロジェクト」としてまとめた好事例集を作成し、建築物の廃棄物管理責任者に配布し、自社や管理物件での廃棄物管理に取り入れてもらうことで、リサイクル率の向上と事業系ごみの排出削減を図った。 再掲	● 全国的に事業系ごみの不適正処理事例が後を絶たず、23区においても東京二十三区清掃一部事務組合が管理する清掃工場への不適正搬入が頻繁に確認されている。そのため、排出事業者には排出責任を認識させ、適正分別を徹底するよう引き続き働きかける。
	(2) 小規模事業所の3R推進	● Rサークルオフィス文京の事務局である文京区リサイクル事業協同組合や印刷製本組合に対して周知用チラシ等を作成し、支給、支援を行った。	● 今後もRサークルオフィス文京の事務局である文京区リサイクル事業協同組合や印刷製本組合に対しては、支援事業を継続する。
	(3) 区の率先した取組の推進	● 文京シビックセンター内の自動販売機では、プラスチックごみの削減を推進するため、飲料水以外はペットボトルではなく缶飲料を販売している。 ● 庁内各課にBunkyoごみダイエット通信を配布し、職員全体への周知・啓発を行った。	● プラスチックごみ削減に向けた発生抑制の啓発を実施する。 ● 食べ残しなど、食品ロス削減に向けた啓発を実施する。

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
5 適正処理の推進	(1) 適正な収集体制の維持	● 高齢者等を対象とした訪問収集、防鳥ネットの貸出、動物死体の処理などの事業について、引き続き実施した。	● 本事業については、全体的に浸透してきており、今後も効率的かつ効果的な運営に努める。
	(2) 区で収集しない廃棄物への対応	● 家電リサイクル法対象機器やパソコン、事業者等が自主回収を行っている品目については、事業者への引き渡しについての周知を図った。	● 家庭用パソコンへの対応については、宅配便を活用した小型家電の回収を行っている事業者と引き続き連携を図る。 ● リチウムイオン電池などの二次電池の適正処理について検討を進める。
	(3) 適正排出の推進	● 集積所利用事業者に対する有料ごみ処理券の適正貼付指導や、不適切な排出者に対するふれあい指導などを通じて、ごみ・資源が適正に排出されるよう働きかけを行った。 ふれあい指導 8,322件	● 不適正排出者に対しては、今後もふれあい指導による適切な指導、相談業務を行う。
	(4) 事業系ごみの自己処理の促進	● 適正な収集運搬、処理、処分が行われるよう、一般廃棄物処理業者に対して許可や更新時に指導等を行った。 ● 事業系ごみの自己処理原則の考え方を促進するため、立入検査時の冒頭、文京区廃棄物処理及び再利用に関する条例に定められている「排出事業者の責務」を必ず説明している。	● 一般廃棄物処理業者への情報提供については、電話で随時対応する。
	(5) 中間処理・最終処分	● サーマルリサイクルのほか、鉄・アルミ等の資源回収、焼却灰のセメント原料化など、中間処理段階でのリサイクルを行った。	● 中間処理後、東京都が管理する最終処分場に埋立処分しているが、引き続きごみの減量等により、最終処分場の延命化に努める。

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
5 適正処理の推進	(6) 災害時の対応	● 23区清掃リサイクル主管課長会「災害廃棄物処理対策検討会」において、6団体と締結している災害時のし尿及び災害廃棄物に関する収集・運搬、処理・処分の協力協定、23区及び清掃一部事務組合間で締結している災害廃棄物の共同処理等に関する協定について、細目等の検討を行った。 ● 住宅地等に設置し、区民が自らがれきや片付けごみを搬入する仮置き集積所である地区集積所の必要面積を算定し、候補地の選定作業を行った。	● 23区清掃リサイクル主管課長会「災害廃棄物処理対策検討会」において、引き続き、各協定の細目等について検討する。 ● 「文京区地域防災計画」の見直しを踏まえ、「文京区災害廃棄物処理計画」の見直しを行う。
	(7) 感染症発生時の対応	● 令和2年5月に策定した「新型インフルエンザ・新型コロナウイルス等の感染症の発生時における文京区廃棄物処理事業継続計画」に基づいた対応を実施した。 ● 新型コロナウイルス等感染症対策のためのごみの捨て方及びごみの収集作業時等における安全確保について、周知を図った。	● 職員の感染予防を講じるとともに、感染状況に応じて事業継続計画に基づいた対応を行う。

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
6 運営管理体制の充実	(1) 双方向の情報交換と区民参画	● 【リサイクル清掃審議会 第8期】 2回開催 文京区一般廃棄物処理基本計画（モノ・プラン文京）の進捗状況やごみ量、プラスチック分別回収モデル事業等について報告・審議した。 ● 【リサイクル推進サポーター連絡会】 1回開催（3月4日(月)） サポーター活動に関する情報提供や意見交換を通じて、サポーター相互の交流を図った。	● 3R普及・啓発について考える機会を継続的に設けていく。 ● リサイクル推進サポーターが主体となった3R推進活動について、具体的な活動につながるような支援を検討する。
	(2) 国等への要望	● 循環型社会の形成を図るため、廃棄物処理施設整備計画に掲げられた目標達成に向け、所要の財政的措置を講ずることなどを、大都市清掃事業協議会を通じて国へ要望した。	● 特別区は、事業系ごみの占める割合が高い廃棄物処理施設の用地確保が難しいなど、大都市特有の問題を数多く抱えており、適切な役割分担と負担を引き続き国へ要望していく。
	(3) 行政内部での連携	● 環境政策課が区報に掲載した「文京版クールアース・デー」の記事に、食生活とエコに関する具体的な取組を掲載し啓発を図った。	● 現在の連携部署に加え、各事業で関連部署との連携・協力を図る。
	(4) 処理費用負担の検討	● 23区清掃リサイクル主管課長会「廃棄物処理手数料改定検討会」において、廃棄物処理手数料原価の確認・検証を行った。 ● 令和5年10月1日より廃棄物処理手数料を改定した。（40円/kg→46円/kg）	● 原則4年ごとの手数料見直しに向けて、「廃棄物処理手数料改定検討会」において、検討を続ける。
	(5) 情報の公開	● ごみ量や資源量、コストに関する情報のほか、文京区一般廃棄物処理基本計画（モノ・プラン文京）や文京区災害廃棄物処理計画、文京区リサイクル清掃審議会の開催についてもホームページ等にて公開した。	● 事業概要やホームページ、Bunkyoごみダイエット通信等で、引き続き情報公開を行う。